平成 25 年 8 月 29 日

各分野（センター）長殿

技術室長　井上　純一郎

東大医科研・技術室主催テクニカルセミナー

（東京大学医科学研究所　共同利用・共同研究拠点事業共催）

演題　　「医科学研究のためのメタボロミクス」

演者　：　紙　健次郎
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社　研究開発本部

日時　：　２０１３年９月１８日（水）　15:00～17:00
場所　：　２号館２階　大講義室

当日参加もできますが、配布資料準備の都合上、参加希望者は事前登録をお願いします。
9/13（金）までにヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株）の角口さん
sayaka.kadoguchi@humanmetabolome.com
まで名前、所属、メールアドレスをお知らせください。
もし資料のみほしい。とか、今回セミナーには参加できないけど、別途話が聞きたい。など要望がありましたら、その旨もご記入ください。

要旨：
　メタボロミクスとは、「代謝物質の種類や濃度を網羅的に分析・解析する手法を用いた代謝の総体的な理解」のことで、全体の中での一個一個の代謝物質よりも、代謝を全体的に捉えることを重視した概念です。
　近年、基礎的な生化学メカニズムや代謝酵素を標的とした化学療法の開発を効率よく進めるため、メタボロミクスが採用されるようになり、第4のオミクスとして、注目を集めています。
　たとえば、がんにおいてもワーバーグ効果など古くから知られるがん細胞の代謝特性に加え、多くの代謝的な特徴が見いだされてきていて注目を集めています。
このように、がん研究を中心として代謝解析が再び大きな役割を果たすことが期待されているほか、バイオマーカー探索や作用機序解明に代表されるような医薬研究、効率的な物質生産を目指す醗酵研究、バイオマス研究など、生物学の幅広い領域にて広がりをみせており、今や先端的なバイオロジーにメタボロミクスは必須です。
　本セミナーでは、メタボローム研究が最新の研究でどのように応用されているのか？を紹介していただくだけでなく、実際にメタボロミクスを研究に採り入れるにあたり考慮すべき基本事項から実験構築例についても説明していただきメタボロミクスをより身近に感じていただけたらと考えています。

　これから代謝物質解析という新たなアプローチで研究をすすめていきたいと考えていらっしゃる方、ご興味をもたれた方、ぜひご参加ください。

担当・技術室
山根　さやか　（内線 75288）
小西　知江子　（内線 72328）